

苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 4 回 定例委員会
日時	令和7年4月25日 自 15時00分 至 15時46分
場所	第二庁舎2階北会議室
出席委員	教育長 山本 俊介 委員 佐藤 郁子 委員 齋藤 智子 委員 岡田 秀樹
欠席委員	高橋 憲司 委員
会議録署名委員	佐藤 郁子 委員
会議録作成職員	総務企画課主任主事 飯塚 菜摘
事務局職員	教 育 部 長 園 田 透 教 育 部 次 長 山 地 吉 明 教 育 部 次 長 齋 藤 貴 志 教 育 部 参 事 東 峰 秀 樹 教 育 部 参 事 荒 関 基 高 生 涯 学 習 課 長 田 中 恵 子 生 涯 学 習 課 長 補 佐 齊 藤 正 幸 総 務 企 画 課 長 下 濱 辰 哉 総 務 企 画 課 主 査 岡 崎 一 樹 総 務 企 画 課 主 任 主 事 飯 塚 菜 摘
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（山本教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（佐藤 郁子 委員）
3 会議録の承認
（山本教育長） 第3回定例教育委員会（令和7年3月28日開催）の会議録について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（山本教育長） 主に3月28日開催の第3回定例教育委員会以降の事業などについて報告をさせていただきます。はじめに、この度の4月1日付け人事異動の総括についてですが、4月1日には委員会事務局職員について、学芸員の採用1人を含む20名に辞令交付をいたしました。
4月2日には学校教職員の辞令交付式を教育センターで行い、校長12人、教頭12人、そして新採用教職員25人について私から辞令交付を行い、一般教員については各学校で校長から辞令を交付していただきました。
人事異動は本人にとりましても新たな自己研鑽などの機会になると同時に、組織にとりましても新しい風が入ることにより、組織運営が活性化していく効果もありますので、今後の活躍を期待するところでございます。

<p>また教育委員会事務局におきましては、部活動の地域展開を推進するため、担当課長職である主幹を1名、教職員OBのアドバイザー1名を新たに配置し、取組の強化を図ったところでございます。</p>
<p>4月8日には小中学校で始業式、翌9日には小中学校で入学式が行われました。新1年生は小学校が1,177人、中学校が1,402人でございます。昨年と比較して、小学校、中学校ともに31人の減となっております。本市においても少子化が進んでいることを実感しているところでございます。</p>
<p>4月9日に「令和7年度第1回胆振管内教育委員会教育長会議」がむろらん広域センタービルで開催され、出席をいたしました。高橋胆振教育局長から今年度の教育推進の重点について説明がありまして、推進テーマは子供の「よさ」を徹底的に伸ばす学校づくりとし、学校・地域・社会のウェルビーイングの向上を図るため、資質・能力の向上、特別支援教育の充実、生活・学習習慣の確立、地域との連携・協働、教員の人材育成、働き方改革の推進という六つの重点について説明がありました。</p>
<p>開催冒頭に新たな教育長として、私のほか、伊達市の堀籠教育長が紹介をされましたが、その他管内の教育長の皆さんとも、今後も情報交換をしたいと思いますと考えております。</p>
<p>4月10日に、「第1回定例校長会議」が金澤市長の出席を得て開催されましたが、委員の皆様、お忙しい中、ご出席をいただきまして、ありがとうございました。来賓の退席後、私からは令和7年度苫小牧市教育行政執行方針の概要説明、今回発覚しました金銭着服について、全校長に対岸の火事とせず、管理やチェック体制を確認するよう注意喚起を行いました。</p>
<p>4月16日には「第1回定例教頭会議」が開催され、私からは校長会議と同様、令和7年度苫小牧市教育行政執行方針の概要説明、金銭着服に関する注意喚起を行ったところです。</p>
<p>4月18日に「転入校長研修会」を開催しました。私から6名の校長先生に、「苫小牧市の現状及び苫小牧市の教育の現状と課題」と題して、若干の自己紹介を加えな</p>

がら、人口減少と少子高齢化を迎えている本市の現状のほか、リスク管理と対応の大切さ、本市の教育行政が抱える課題について説明をいたしました。

4月24日に「4月臨時校長会議」が開催されまして、冒頭の挨拶の中でこれまでの大作戦シリーズに代わる、「選ばれるまちプロジェクト」について触れました。略称「まちプロ」と言いますが、今年度は「子どもど真ん中アクション」として子ども・子育てにやさしい地域づくりを目指し、様々な事業を1年間展開してまいります。乳幼児世代、義務教育世代、高校生世代、全世代共通という4つの枠を設定しまして、教育委員会は義務教育世代担当として事業実施に協力していく予定であることを説明したほか、サービスの徹底などについて再度話をいたしました。

生涯学習関連の事業につきましては、4月10日に、苫小牧音楽祭第1回実行委員会が開催され、今年度の事業概要などについて協議をされ、冒頭私から、ご挨拶を申し上げます。

4月15日に「苫小牧市 長生大学入学式・始業式」が開催されました。59名の新入生をお迎えし、新年度の学生数は255名となっております。来賓として金澤市長、藤田市議会議長に祝辞をいただきました。私からは「地域社会では高齢者の方々の力が求められており、社会貢献への期待も高まっていることから、元気に学んでいただきたい。」と式辞を述べたところでございます。

ここで、この度市内学校でおきました、事務職員による私会計の金銭着服と、卒業アルバムに掲載された情報の漏洩案件について報告をさせていただきます。

既に報道はされておりますが、市内小学校に勤務する事務職員が、令和4年10月から本年3月まで複数回にわたり、周年行事などのための積立金である「PTA特別会計」の口座から約180万円を引き出し、また、各学年の教材を購入するための「学年会計」として、保護者から徴収した現金を口座に入金することなく保管し不正な流用を繰り返し、自身の借金返済に充てるなど、学校の私市費会計から、総額で約470万円を着服していたものでございます。なお、既にPTA会計への全額返済や支払いが遅れていた業者への支払いも済んでおります。

<p>この件につきましては、PTA会長及び役員への報告後、4月14日に市役所6階</p>
<p>記者クラブにおいて教育部長と次長から公表いたしまして、4月18日には学校で保</p>
<p>護者説明会を開催いたしました。</p>
<p>詳細は後ほど担当からも説明させていただきますが、児童生徒、保護者、市民の信</p>
<p>頼を損ない、多大なるご迷惑をおかけする行為でありまして、誠に遺憾に思っており</p>
<p>ます。</p>
<p>私からも4月の校長、教頭会議、転入校長研修会で今後同様の案件が起きることの</p>
<p>ないよう、管理とチェック体制についての徹底を指示したところでございます。</p>
<p>また、卒業アルバムの件は、令和5年度の卒業アルバムを受注した仙台市の印刷会</p>
<p>社がサイバー攻撃を受け、個人情報漏洩した可能性があるとの報告がありまして、</p>
<p>本市の小中学校17校の卒業生1,632人が対象と考えられるものでございます。</p>
<p>この件による被害報告は現在ございませんが、既に記者発表と市ホームページへの掲</p>
<p>載で周知を図った次第でございます。大企業のシステムでさえもサイバー攻撃を受け、</p>
<p>混乱を招くことがある昨今でございますので、今後は中小企業を含めた委託業務など</p>
<p>において、改めて情報セキュリティの点検、確認の必要性を認識したところでござい</p>
<p>ます。</p>
<p>最後に、この度の教育長就任にあたりまして、市内小中学校を訪問し、校長先生と</p>
<p>も面談させていただいている最中でございます。本日までに23校を訪問しましたが、</p>
<p>残りの学校につきましても、近日中に訪問予定でございます。</p>
<p>学校現場の状況を肌で感じましたし、各学校が抱える課題解決に向けて、現場の先</p>
<p>生方と意思疎通を図りながら、改めて努力してまいりたいと考えております。</p>
<p>私からの報告は以上でございますが、何かご質問等はございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>

5 議 案

議案第1号 苫小牧市図書館蔵書整備計画の見直しについて

(生涯学習課長) ー苫小牧市図書館蔵書整備計画の見直しについて説明ー

(山本教育長) 質疑に付します。何かございませんか。

(齋藤委員) お聞きしたい点が2点ほどあります。1点目が「苫小牧はじめて物語」から「とまチョップの苫小牧さんぽ」に変更というふうに書いてあるのですが、これは内容が人物だけではなく、もう少し幅広い意味を捉えられたものなのでしょうか。もう少し詳しくご説明していただきたいと思います。もう1つは、貸出冊数も中間見直しということで、当初に目標を立てたことに対して下方修正をしたり、見直しをしたり、これは大変理解できました。素朴な疑問なのですが、人口1人当たりの貸出冊数を目標に挙げていますよね。こちらは資料として良いと思うのですが、私も図書館に行って思うのですが、本を借りなくても図書館に来て読んでいる方が結構いらっしゃいますよね。例えば東開町の新しいところは、本を借りなくてもカフェに持ち込んで読めるような感じですか。必ずしも、図書館を利用している人イコール本を借りている人ではなく、そこで完結している人もいるのではないかと思います。ちょっと難しいかと思うのですが、利用率、図書館に足を運んでいる人の数というのを把握する術は何かあるのでしょうか。

(生涯学習課長) まず1つ目は、「苫小牧はじめて物語」というところだったのですが、おっしゃるとおり、「苫小牧はじめて物語」という人物紹介のものをやっていたのですが、人物だけではなく物だったり、事柄だったり、そういうところで苫小牧に縁のあるものをというところで、「とまチョップの苫小牧さんぽ」と変更したというふうになっております。2つ目は、来館者数というところも、こういった把握に使えるのではないかということだったと思います。今回は図書館の蔵書整備計画ということなので、本についてということを書かせていただいているところではあります。図書館の機能として、本を読むですとか資料を探すという他に、その場を楽しむというようなことも目指していることでもありますので、そういった視点も図書館の運営に

は検討していきたいと思っております。来館者数については後ほど確認したいと思います。

(齋藤委員) 図書館のあり方が最近変わってきていると思っています。もちろん貸出冊数が図書館蔵書数をどのくらい増やしていくか等の判断に大きく関わってくることは分かっているのですが、市民の皆さんの使い方も変わってきているので、当時の計画とはまた違う視点を持って考えていく必要があると感じました。

(山本教育長) ほかに何かございませんか。

(佐藤委員) 齋藤委員のほうから発言がありましたが、図書館の形や利用方法が利用する方々の層、年齢によって随分変わると思います。2つほど教えていただきたいのは、基本方針の3にかかわるところで、電子書籍の扱いなのですが、5ページに具体的な冊数が書いてあります。図書館自体も紙媒体のものは極力避けるような傾向にあると思うのですが、この電子書籍に対しての捉え方ですね。例えば資料を電子化するのか、電子書籍になっているものを購入するのか。また、図書館に来なくても見られるような状態になっておりますので、この中間の目標冊数というのは達成率100パーセントを超えるということで、読んでいらっしゃると思うのですが、中心になるようなところ。例えば子供たちのものなのか、生活に関するものなのかということのお考えはあったようですか。

(生涯学習課長) 電子書籍というものなのですが、結構歴史が長いものではあります。その利用の仕方というのは本当に変わってきているのかなというところですね。現物の本を家に持ち帰ることが苦手だというようなことが出てきたことから、本を読みたいけれども、なかなか家に持ち帰れないというようなことに対して何ができるかということも含めて、この電子書籍というものがどんどん利用されているのかなと考えております。電子書籍はいろいろなパターンがありますが、何年間この契約で使いますといったものを購入して、市民の皆さんが電子図書として使えるようなものになっております。内容に関しては、その中心となるものがあつたかということだったと思います。具体的に方針というものはない中ではありますが、現在子供向けのコンテンツも

増やしていこうという取り組みを進めている最中です。

(佐藤委員) もう1点、こちらの蔵書整備計画なのですが、先ほど申しあげましたように、図書館の活動ですとか求められるものが変わっている中で、例えば夜の図書館ですが、2ページの3のところ、3の①になると思うのですが、今回は見学ツアーという形になっていますよね。それ以外に図書館を理解してもらうとか図書館の利用を促進するとか、そういうような計画と書籍整備の関係について何かお考えになったところはありましたか。

(生涯学習課長) 蔵書計画と図書館の機能の周知のあり方も理解の仕方という形になるかと思っております。いま本離れということで、図書の利用が少なくなっている。そういった中では読書の楽しみだとか、図書館の機能について皆さんに知っていただく形で、PRをする中では図書館でさまざまなイベントを通じて足を運んでもらう工夫をしながら実施しているところでございます。具体的にこの蔵書計画の中のものど結びついているものが今あるかという、すみません、無いなかではあるのですが、今後は先ほどお話ししました電子図書についての使い方なども出てくるのではないかと、図書の使い方のアウトリーチや出前授業なども出てくるのかなと思っております。

(佐藤委員) 静かに本を読むだけの図書館ではなくなってきています。飲食のコーナーも含めて、夜通し図書館を楽しむとか、そういうことも随分出てまいりました。情報活用と蔵書整備の関係というところがちょっと分からなかったもので、お伺いしました。

(山本教育長) 図書館が指定管理制度に入って選定する際に、いろいろな活性化対策があるというのを示していただいているのですが、それがこの整備計画に多分まっすぐ見えてこないというところがありますので、その辺の見せ方をこれからちょっと工夫する必要があるのかなというふうに感じております。ほかに何かございませんか。

(岡田委員) 最近パソコンを使って閲覧するとか、私も官報の閲覧に行ったことがあるのですが、なかなかそういう閲覧の仕方が難しいところがあったりします。閲覧す

るパソコンの使い方の手立てですとか、図書館の側ではその辺考えていらっしゃるどころもあるでしょうか。

(生涯学習課長) 図書館全体の使い方の中のものになろうかと思うのですが、そういった施設や設備についての説明は窓口へ来ていただければ、もちろん説明できます。ただ、行ってすぐに分かりやすいというようなそういったものについて、何か工夫できることがないかというのは検討していきたいと考えております。

(山本教育長) 他にございませんか。質疑がないようであれば、原案どおり決定することよろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは議案第1号は原案どおり決定いたしました。

議案第2号 苫小牧市社会教育委員の委嘱について

議案第3号 苫小牧市図書館協議会委員の任命について

議案第4号 行政報告について

(山本教育長) 次に、議案第2号から第4号についてですが、人事案件でございますことから、教育委員会会議規則第21条の規定により秘密会とし、本会議の日程の最後に審議したいと思います。よろしいでしょうか。

(一同「はい」の声)

(山本教育長) それでは、議案第2号から4号を秘密会とし、本会議の日程の最後に審議することに決定いたしました。

6 報告・協議

報告（１）令和８年度国・道及び関係機関に対する重点要望事項について
（総務企画課長） ー令和８年度国・道及び関係機関に対する重点要望事項について
説明ー
（山本教育長） 質疑に付します。何かございませんか。
（一同「なし」の声）
（山本教育長） ないようであれば、質疑を終結することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
（山本教育長） それでは、報告第１号の質疑を終結いたします。次に、報告第２号
についてですが、人事案件であることから教育委員会会議規則第２１条の規定により
秘密会とし、この場合、本会議の日程の最後に説明したいと思いますが、よろしいで
しょうか。
（一同「はい」の声）
（山本教育長） それでは報告第２号を秘密会とし、本会議の日程の最後に説明する
ことに決定いたしました。これより、先ほど秘密会と決定しました議案第２号から第
４号、報告第２号について議題といたします。関係者以外は退席をお願いいたします。
7 その他
（山本教育長） 次に、その他でございますが、事務局、委員の皆様を含めて、何か
ございますか。

(一同、「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言（山本教育長）・・・15時46分